

省エネ住宅の普及に関するアンケート 集計結果

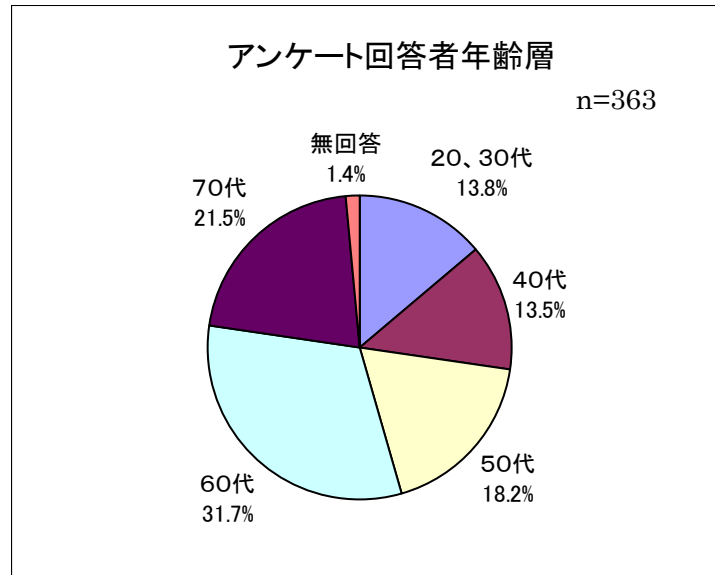
(回答者数:363件)

平成20年1月11日

●フェイスシート

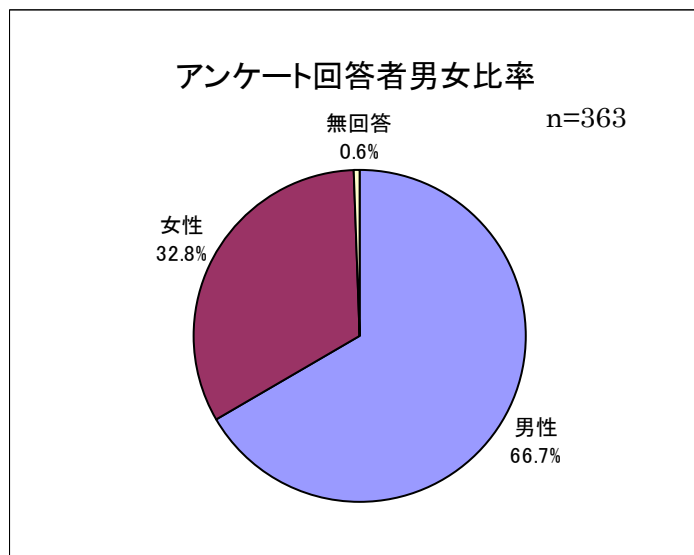
・年齢

20、30代	50
40代	49
50代	66
60代	115
70代	78
無回答	6



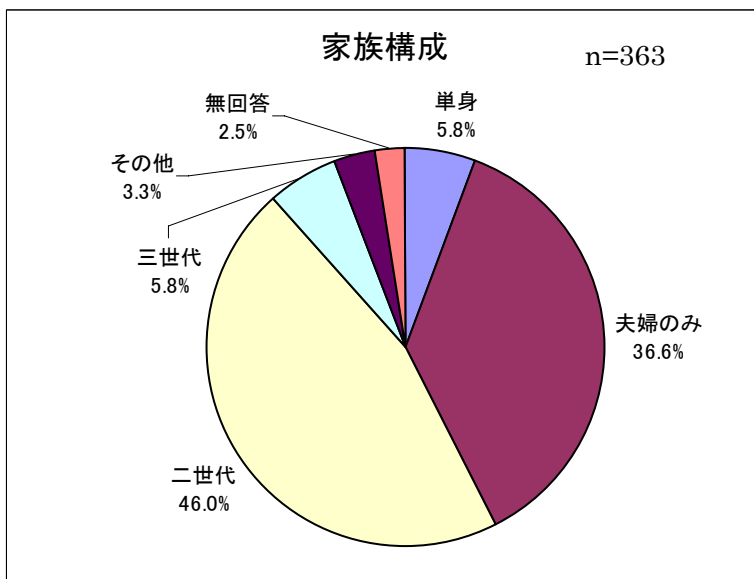
・性別

男性	242
女性	119
無回答	2



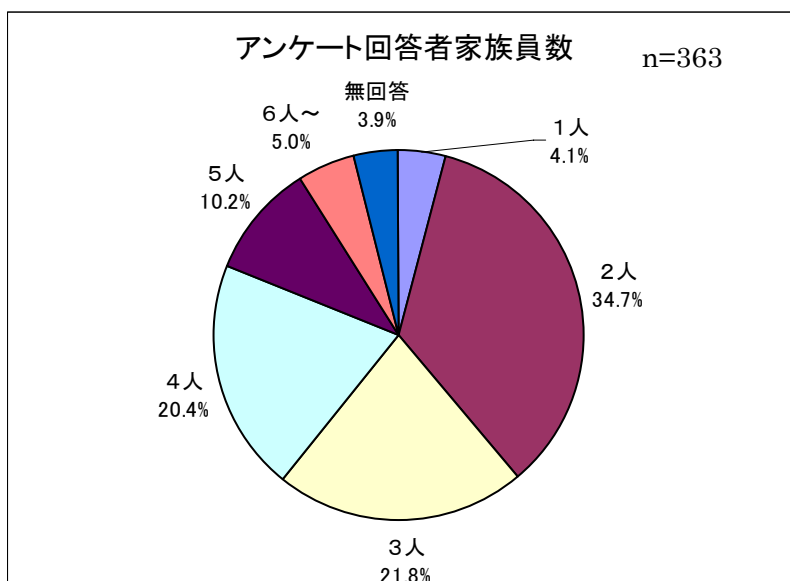
・家族構成

単身	21
夫婦のみ	133
二世代	167
三世代	21
その他	12
無回答	9



・家族員数

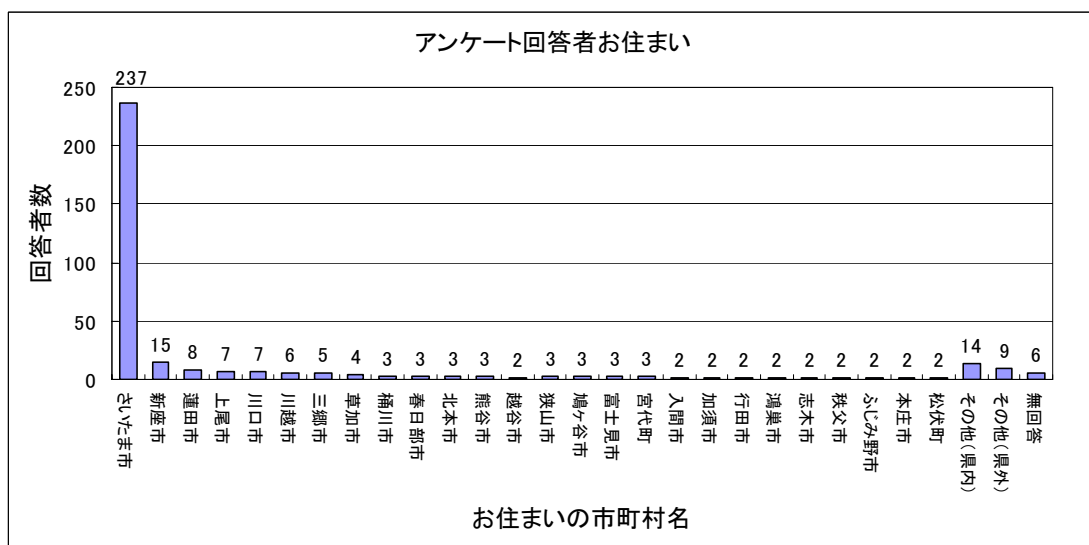
1人	15
2人	126
3人	79
4人	74
5人	37
6人～	18
無回答	14



●現在のお住まいの状況

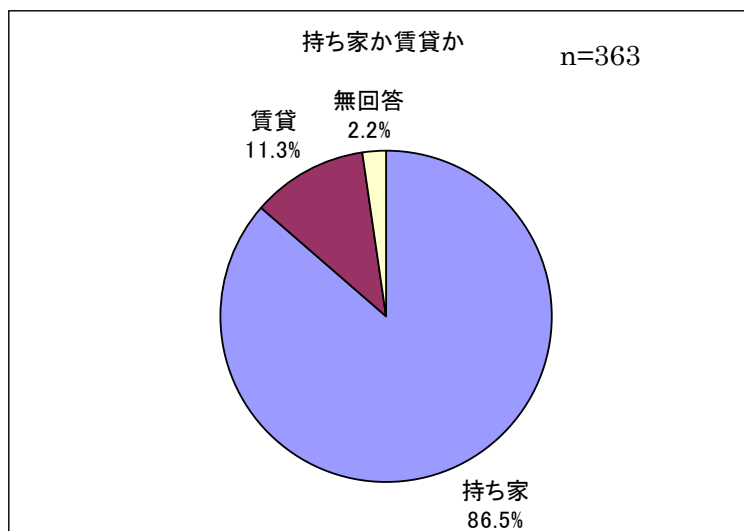
・お住まいの市町村名

さいたま市	237	熊谷市	3	秩父市	2	深谷市	1
新座市	15	越谷市	3	ふじみ野市	2	三芳町	1
蓮田市	8	狭山市	3	本庄市	2	毛呂山町	1
上尾市	7	鳩ヶ谷市	3	松伏町	2	八潮市	1
川口市	7	富士見市	3	伊奈町	1	吉川市	1
川越市	6	宮代町	3	川島町	1	和光市	1
三郷市	5	入間市	2	騎西町	1	蕨市	1
草加市	4	加須市	2	坂戸市	1	東京都	5
桶川市	3	行田市	2	幸手市	1	神奈川県	3
春日部市	3	鴻巣市	2	鶴ヶ島市	1	千葉県	1
北本市	3	志木市	2	東松山市	1	無回答	6



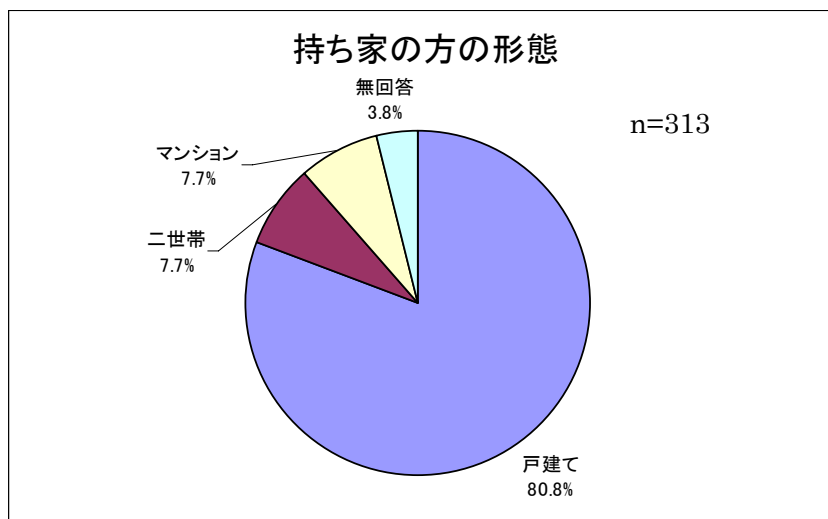
・お住まいについて、持ち家か賃貸か。

持ち家	314
賃貸	41
無回答	8



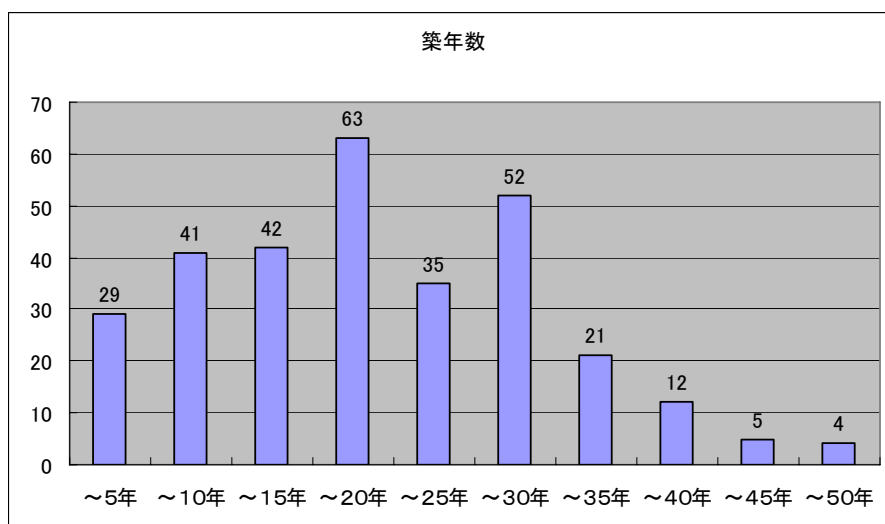
・持ち家の形態は

戸建て	253
二世帯	24
マンション	24
無回答	12



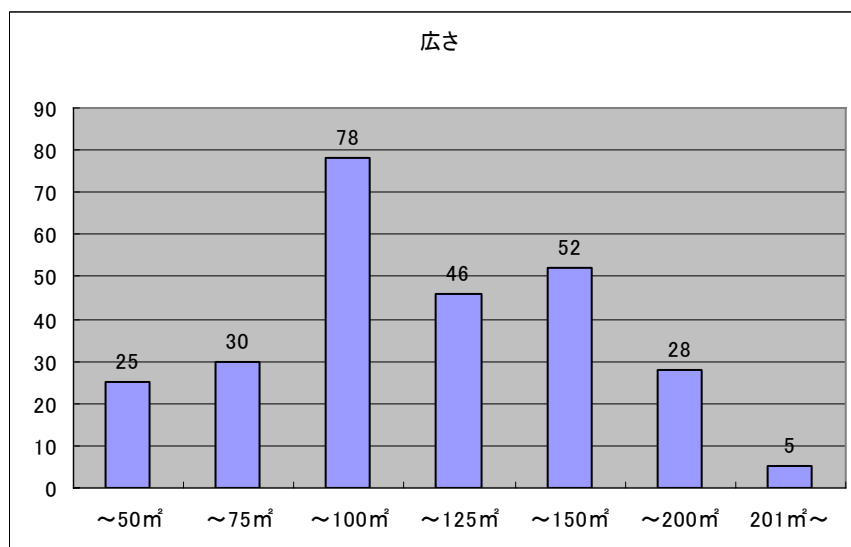
・築年数

～5年	29
～10年	41
～15年	42
～20年	63
～25年	35
～30年	52
～35年	21
～40年	12
～45年	5
～50年	4



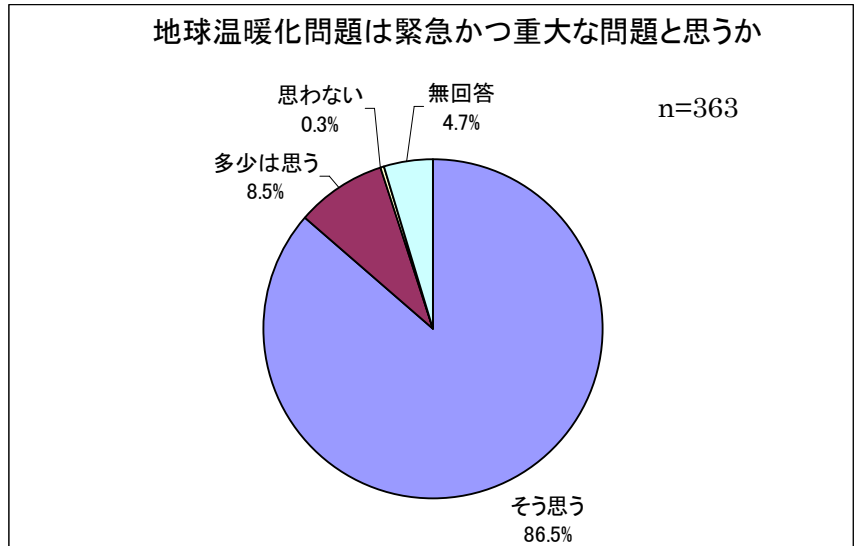
・広さ

～50㎡	25
～75㎡	30
～100㎡	78
～125㎡	46
～150㎡	52
～200㎡	28
201㎡～	5



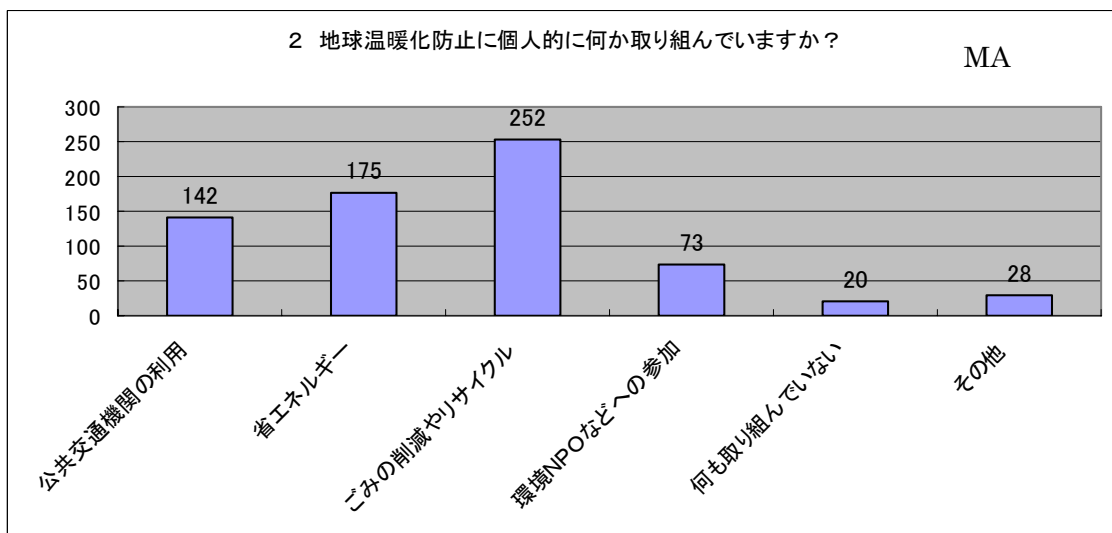
1 地球温暖化問題は、緊急かつ重大な問題と Think ますか

ア) そう Think	314
イ) 多少は Think	31
ウ) 思わない	1
無回答	17



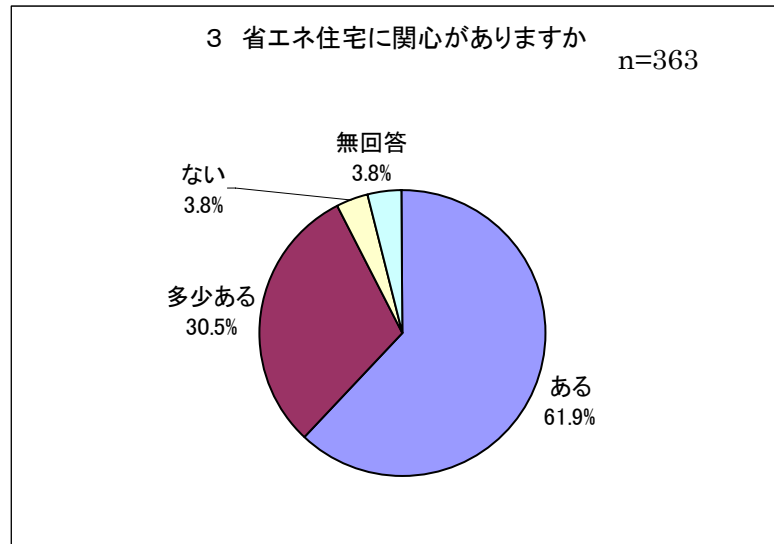
2 地球温暖化防止に個人的に何か取り組んでいますか？

ア) 公共交通機関の利用	142
イ) 省エネルギー	175
ウ) ごみの削減やリサイクル	252
エ) 環境NPOなどへの参加	73
オ) 何も取り組んでいない	20
カ) その他(自転車の利用等)	28



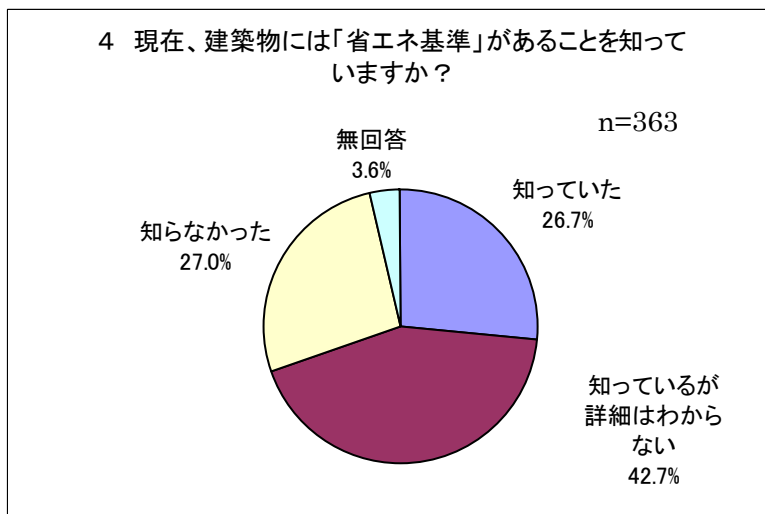
3 省エネ住宅に関心がありますか

ア)ある	227
イ)多少ある	112
ウ)ない	14
無回答	14



4 現在、建築物には「省エネ基準」があることを知っていますか？

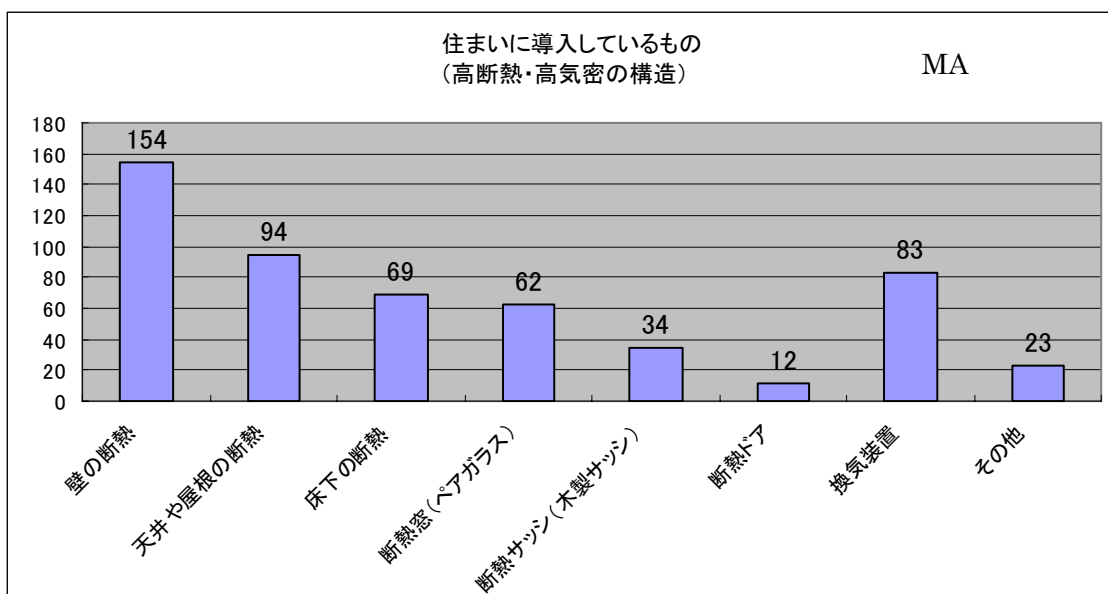
ア)知っていた	97
イ)知っているが、詳細はわからない	155
ウ)知らなかった	98
無回答	13



5 あなたのお住まいに導入しているものがありますか(導入しているもの全てに○)

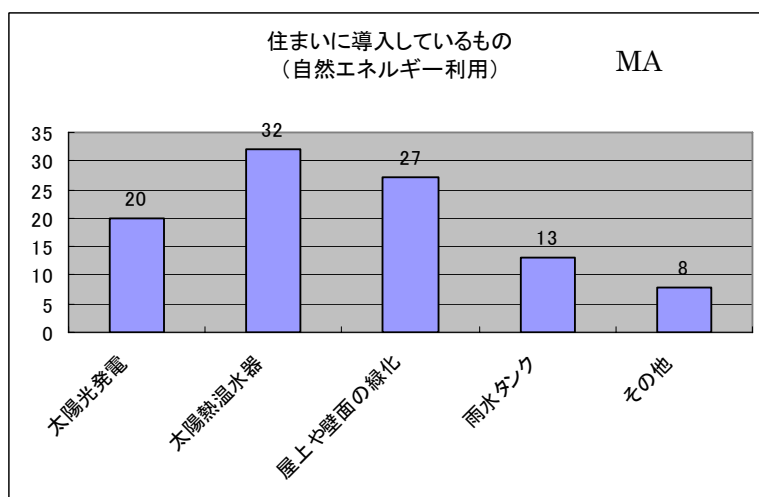
■高断熱・高気密の構造

・壁の断熱	154
・天井や屋根の断熱	94
・床下の断熱	69
・断熱窓(ペアガラス)	62
・断熱サッシ(木製サッシ)	34
・断熱ドア	12
・換気装置	83
・その他	23



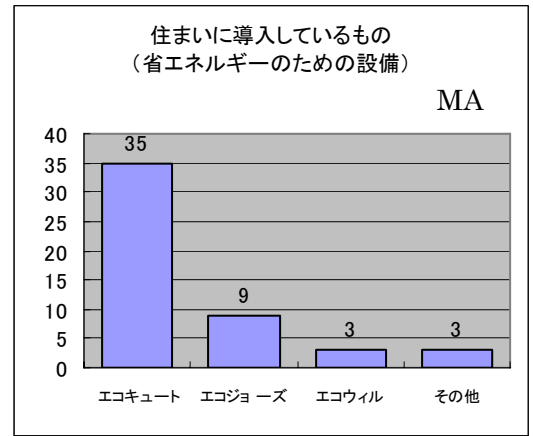
■自然エネルギー利用

・太陽光発電	20
・太陽熱温水器	32
・屋上や壁面の緑化	27
・雨水タンク	13
・その他	8



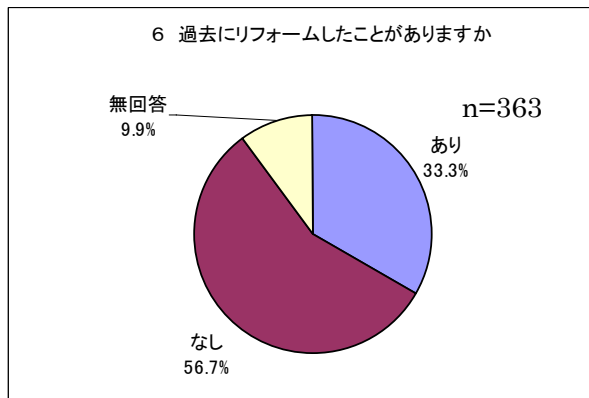
■省エネルギーのための設備(高効率給湯器など)

- ・CO2冷媒ヒートポンプ給湯器(エコキュート) 35
- ・潜熱回収型給湯器(エコジョーズ) 9
- ・ガスエンジンコージェネレーション(エコウィル) 3
- ・その他 3



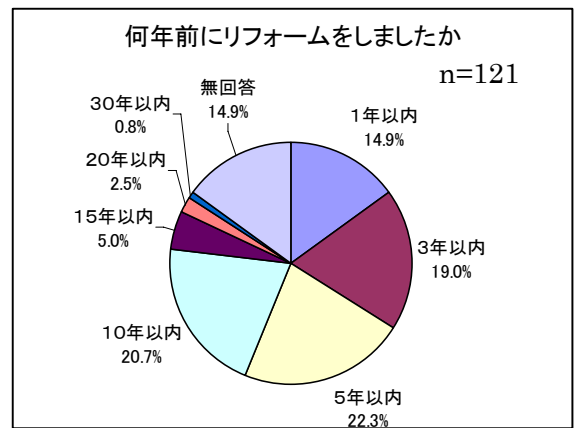
6 過去にリフォームをしたことがありますか

ア)有 121 イ)無 206 無回答 36



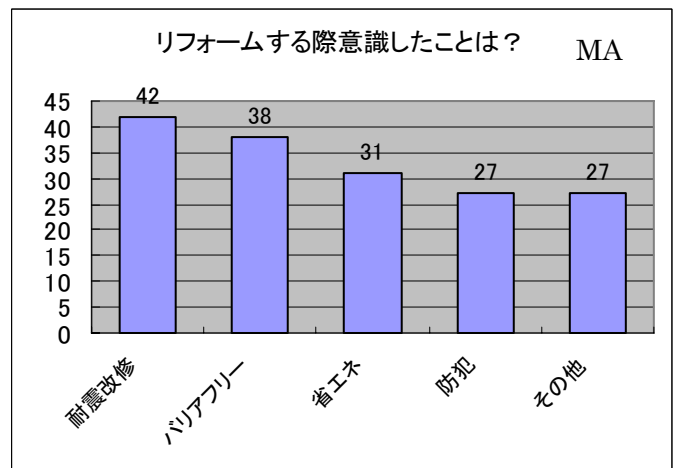
6-1 何年前にリフォームをしましたか

- 1年以内:18
- 3年以内:23
- 5年以内:27
- 10年以内:25
- 15年以内:6
- 20年以内:3
- 30年以内:1
- 無回答:18



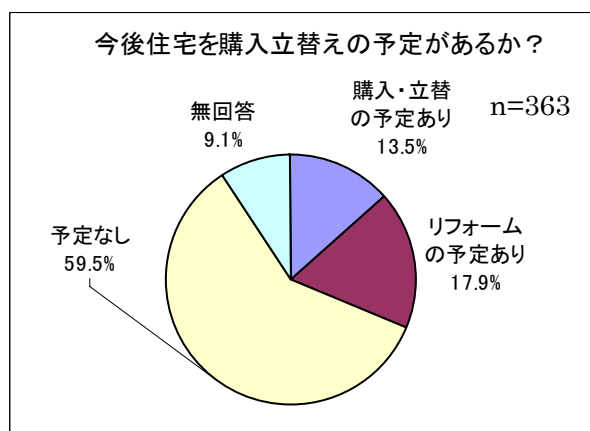
6-2 リフォームをする際、意識したことは(複数回答可)

- ア)耐震改修 42
- イ)バリアフリー 38
- ウ)省エネ 31
- エ)防犯 27
- オ)その他(資材の再利用など) 27



7 今後、住宅を購入・建替え又は改修(リフォーム)する予定がありますか。

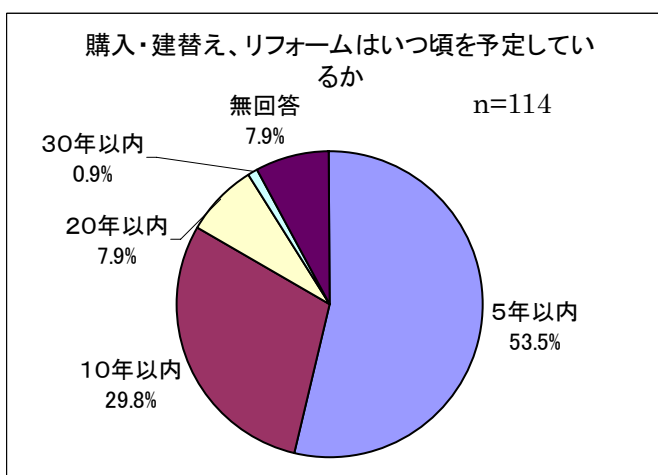
ア)購入・建替えの予定がある	49
イ)リフォームの予定がある	65
ウ)予定がない(今後30年間より先又は不明)	216
無回答	33



(以下は、ア、イと回答した方にお聞きします。)

7-1 購入・建替え、リフォームは、いつ頃を予定していますか。

ア)5年以内	61
イ)6年～10年以内	34
ウ)11年～20年以内	9
エ)21年～30年以内	1
無回答	9

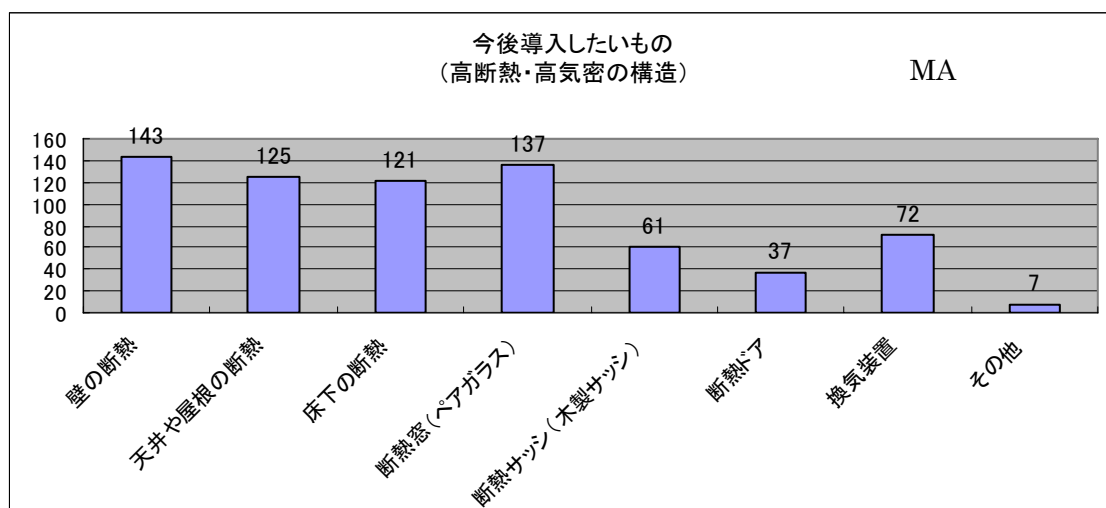


8 今後、購入・建替え、リフォームをすると想定した場合に導入したいものは、どれですか。

(複数回答可、なお、高効率給湯器はどれか一つに○)

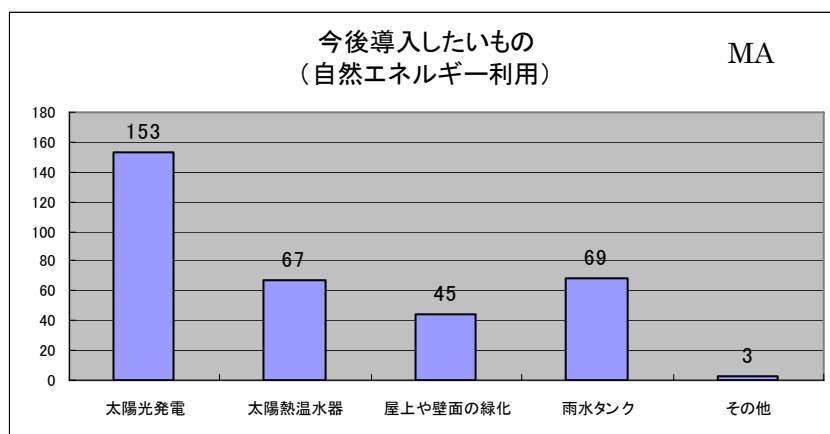
■高断熱・高気密の構造

・壁の断熱	143
・天井や屋根の断熱	125
・床下の断熱	121
・断熱窓(ペアガラス)	137
・断熱サッシ(木製サッシ)	61
・断熱ドア	37
・換気装置	72
・その他	7



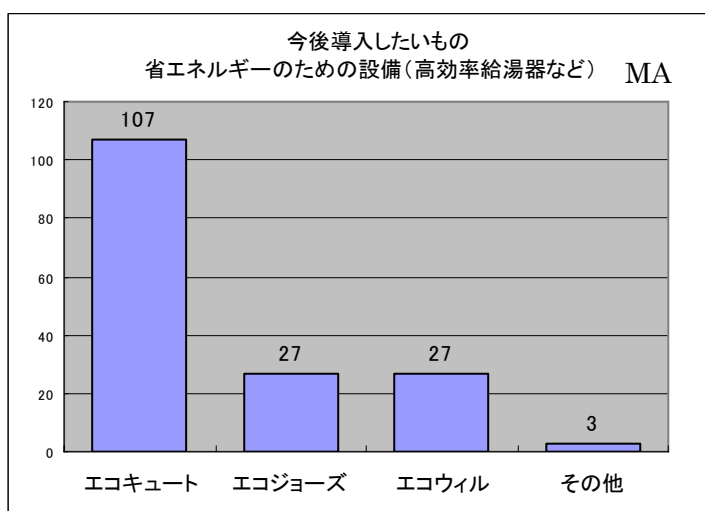
■自然エネルギー利用

・太陽光発電	153
・太陽熱温水器	67
・屋上や壁面の緑化	45
・雨水タンク	69
・その他	3



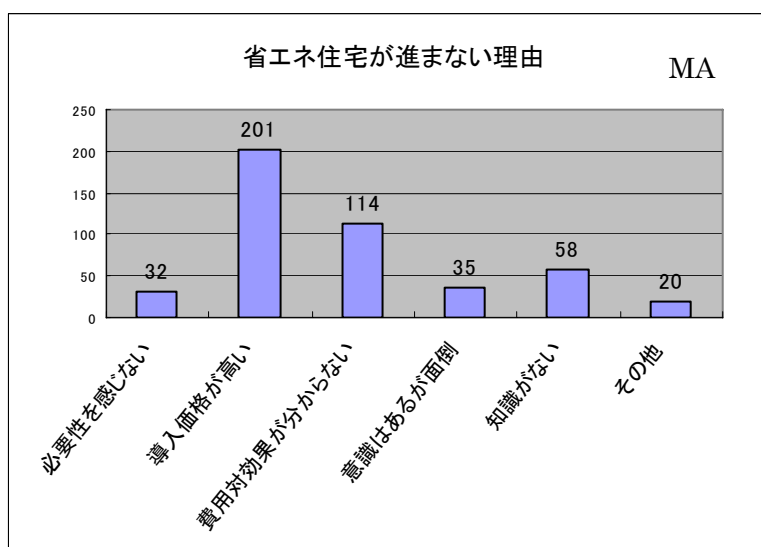
■省エネルギーのための設備(高効率給湯器など)

・CO2冷媒ヒートポンプ給湯器(エコキュート)	107
・潜熱回収型給湯器(エコジョーズ)	27
・ガスエンジンコージェネレーション(エコウィル)	27
・その他	3



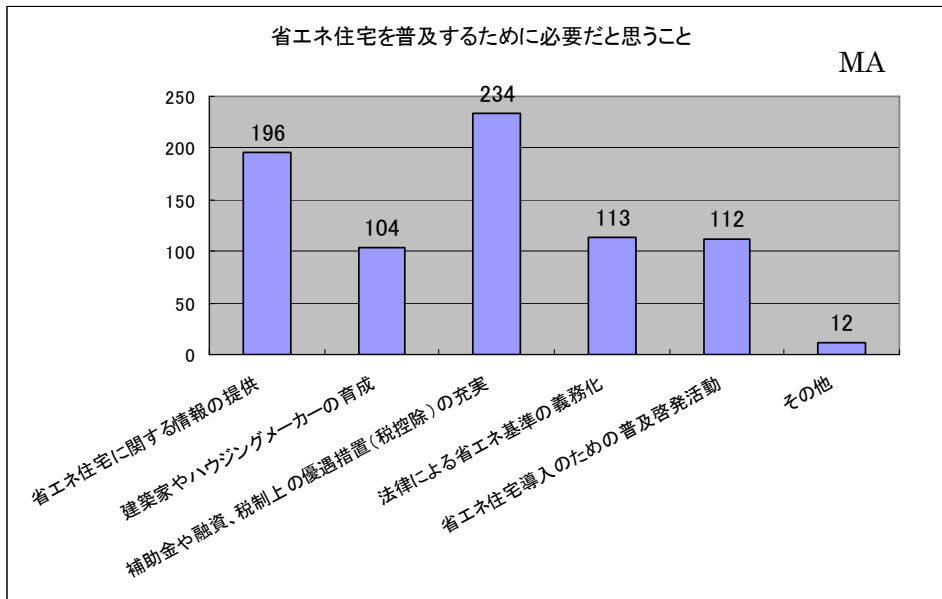
9 省エネ住宅の導入やリフォームが進まない、又は困難な理由は何でしょうか。

ア) 必要性を感じない	32
イ) 導入価格が高い	201
ウ) 費用対効果が分からない	114
エ) 意識はあるが面倒	35
オ) 省エネ住宅について知識がない	58
カ) その他(資金不足、助成策があいまい、など)	20



10 省エネ住宅を普及するために、必要と思われることはどれですか。(複数回答可)

ア) 省エネ住宅に関する情報の提供	196
イ) 省エネに詳しい建築家やハウジングメーカーの育成	104
ウ) 補助金や融資、税制上の優遇措置(税控除)の充実	234
エ) 法律による省エネ基準の義務化	113
オ) 省エネ住宅導入のための普及啓発活動	112
カ) その他(技術向上、外国並みのグリーン電力代金など)	12



11 その他自由意見

<省エネに世帯住宅の提言> 省エネ住宅のよさ、必要性は十分認識していますが、36年間勤務した会社を退職し、退職金をリフォームにあて、残りは老後資金のため、企業年金に当てました。本当は自宅を省エネ住宅に立替をしたかったが、公的年金だけでは生活できない現状に企業年金はそれを補填するために必要でした。それでは温暖化防止活動のため、一般市民として何もしないのか…現在の検討・計画は長男夫婦との合意のもと、現在の自宅を売却し省エネに世帯住宅とすることです。二世帯省エネ住宅の実現は、省エネ住宅の建設、非省エネ住宅の消滅・戸建て住宅の世帯数の増加と温暖化対策の一策と考えます。

1、薄いタンクの設置を義務化して洗車、植木への散水などに利用させる 2、ライトアップなどは時間制限により返って効果が大きくなる 3、スーパーコンビニ、大型電気店などは床面積あたりの電気使用量を規制して照明技術の向上に努めさせる 4、信号機などへのLED採用を促進させる 5、電気料金、ガス料金を現行の数倍にするのが最も効果的 6、サマータイムの採用

PR 不足

一軒家は寒いときいていましたが、住んでみたら、以前のRC造の団地よりずっと暖かでした。理由はたぶん断熱サッシ窓ではないかと思います。暖かく、結露も無いため、とても快適で少し高かったですが導入してよかったですと思います。

今、マンション住まいが多くなっています。我が家も、3年前マンション購入時、パンフレットを多く取り寄せ検討しましたが、省エネマンションとうたった建物は無かったように思います。省エネ建物とのPRが不足だと思います。

大げさな言い方になっておかしいとも思うのですが、私たち人類は宇宙の中で生をうけ地球のほんの少しだけの場所を共有して生かされています。その年数も一人当たり80年ちよつとのサイクルを繰り返すうちに科学がどんどん進んで地球を支配するようになりました。宇宙への動きもさかんです。せつかくのこの地球に生をうけた一人の人間として飛ぶ鳥後を濁さずの信念で余生をまっとうしたいと思います

各々の生活レベル、生産レベルで何をやったらよいか？調査をして目標を定める必要がある。水ガス電気、その他のエネルギーに関わる省エネの課題、分別して広報、地域活動の中で活動に結びつけることができないか？

温暖化には関心が強いのですが、何が温暖化の主要な原因なのか、例えば自動車の排気ガスがどれくらいで、工場からいくつくらいのように住宅関連がどの程度占めるのか知りませんでした。もし住宅関連が非常に大きいのであればもっと関心をもつと思います。

体に安心で安全な環境にやさしいエコ賞品の開発をお願いします

企業としてエコ活動は熱心に行っていると思いますが、これからは家庭での温暖化対策が必要だと思います。

業者からのパンフレットなどの送付については固くおことわり致します。

金額がかかることなので慎重にならざるをえないが、前向きに検討したいです

経済的に苦しいので、住宅のリフォームも限られてしまう。ハイブリットなど一般市民もかえるようになってほしい

高齢となりましたので色々考えさせられてきましたが、現在は静かにしていきたいのです

国民の考え方をかえるのも大事ですが、経済のシステムを変革しないと大量のCO2を削減できません。企業に義務化すべきである。世の中のながれを代えるにはまづ上から始めないと人々は動かない、今昔同じです。

コストパフォーマンスの大幅な改善がかぎと思う

子供がいないので今後は施設にはいるかもしれない

埼玉県においてCO2の排出量が全国平均を上回っているのは、農地の減少と共に、増加し続ける高層マンションと道路網が大きな問題となっています。環境基本計画の目標設定→予算→実行の構図がどこの自治体もお粗末であることも大きな原因と考えます。埼玉県内の環境基本計画および緑の基本計画をしっかりと実行できるような体制作りをおこなうことが必要と思います。

自然エネルギー利用(太陽光発電、雨水タンク、屋上や壁面の緑化)の情報が少ない。もっと補助金(高額でなくてよい)制度をつくりアピールしていくことも大事だと思う。

実際に高断熱の家に住んでみると、省エネルギーに生活できる。今の冬ストーブは2回つけただけ(10分くらい)夏も窓を開け放してクーラーは使用せず(扇風機のみ)24時間換気は窓をあけばなしがすきなので、とめている。明るく日当たりがよく、部屋間、部屋内でも温度が少なく、結露が発生しにくい。快適に暮らしてます。省エネ基準としては「新基準」と「次世代基準」の間くらいガラスウールの厚みですが、十分だと思います。自然エネルギー・高効率給湯器を使用しないのは、省エネ生活がみについていて、ガスも電気も常時お湯が必要とは思わない。中高年2人暮らしでは金額が高すぎる。

ジュースコーヒー等の自動販売機を制御すべきです

<p>住宅を建築する際に隣との間隔が狭すぎて太陽光が少しか今に入らない住宅が多くて暖房のためにエネルギーを消費しすぎている。もっと法律で広く敷地をとらせるべきであると思う。省エネを進めるために待機電力削減のため、あらゆる機器に省エネスイッチを付けさせることが必要と思う。一番大切なことはマナー教育と同じく省エネ教育が必要と思う。</p>
<p>省エネ住宅が経費(費用対策効果)的にも購入費のうえでも得であることが徹底しないと導入するのは難しいでしょう。温暖化防止、自然環境保護の視点から持続的可能な経済社会を作る改革が何より大事(個人の努力もあるが、システムを変えないと実現は厳しい)</p>
<p>省エネ住宅ということは大切だけれど、“住まう”という視点で町の中にあることで豊かになるつくりも必要ではないのかと思う。4人家族だったら4本の木があってそだっていけるスペースが作れる余裕があってもいいのではないか。木があることで日差しをさえぎるため、見ているだけでゆったりした気分になるもの。管理は安く請け負ってもらえるNPOなど連携できたらいいのにな、と思う。</p>
<p>省エネ住宅は個人の”こだわり”レベルでは普及しないと思います。法律による省エネ基準の義務化などをしないと全体のレベルは向上が難しいのではないのでしょうか。家を購入するにはそう何回も経験するわけではないので、実際は土地・家屋の広さ、利便性、環境も考慮したうえで価格の問題が第一になると思います。そうなる個人意識・意思でエコ住宅を選ぶ判断基準はどうしても二の次になりがちです。</p>
<p>省エネ住宅は町場の大工さんなどに対するPRが必要。埼玉工建に対して！</p>
<p>省エネ住宅はもうかれば(費用対効果)黙っていても推進する。儲からないのが前提であればなんらかの方策が必要。自然エネルギーを利用するのは「格差」につながる。太陽光は、そのままであれば平等だが、それを利用することは哲学がいる。</p>
<p>省エネ住宅はもちろん必要だとは思いますが、廃棄するときの環境負荷も考える必要があると思う。極端な省エネ住宅よりもある程度のものであれば、暮らし方で省エネを達成することも重要と思う。断熱材には自然素材のものを使うこともいいのでは？</p>
<p>省エネ設備住宅は大きな課題と思いますが、家は手直しするとお金が大きくなりますので、わかっているてもできないことが大きいでしょう。太陽光発電などももっと補助金を延長拡大すべきだと思います。</p>
<p>省エネについての情報と効果が分かる相談所がほしいです</p>
<p>省エネに務めております。これまでの主な改善は、空調機の更新、(約30年前のものから)太陽熱温水器の設置など、機器の更新には理解できますが、元をとるには相当の期間も必要で、これからどうするか、考えているところです。*空調機は猛暑の数ヶ月数時間しか使用しておりません。太陽熱温水器設置もガス代節約でうめきっておりません。関心がある人材を増やしそれに対するポイントや何かのメリットを負荷する必要がある。</p>
<p>省エネの一定基準をクリアすれば住宅建設費への消費税の無税化</p>
<p>省エネのためのリフォームをしたいと思いますが、年齢的に見通しがつきませんので、出来ない状態です。生活面でつとめて省エネにつとめたいと思っております。</p>
<p>省エネは簡単に参加できることと思います。コストのかからないもの、かかること等情報次第だと思えます。</p>
<p>省エネ普及には国の補助金及び税優遇等メリットを十分満足できる対策を打ち出すこと。個人でCO2削減した場合、買取等を考えてもらうと京都議定書の達成もみえてくるのでは。。</p>
<p>省エネ問題にはだいぶ関心を持っている。生活上省エネ意識をもって生活している</p>
<p>小中学校の地球温暖化についての教育の徹底。・都市におけるゴミ焼却時の熱をもっと活用すべき(小規模発電のエネルギー等)</p>
<p>消費電力メーターを安く手に入れるように。(見えない電気の消費量を見えるように)バイオマス発電の件くわしくしりたい。</p>

<p>新築のとき、我が家の太陽光発電設置を</p> <p>新築を希望しています。したがって今から省エネ住宅の研究をしているところです。この決定は判断基準は投資額に対する回収が総予算として支出できるか否かです。しかし少なくとも省エネ導入は時代の要請であると思います。</p>
<p>新聞等地球環境の対策をみれば、貧しい人の生活を改善する次に環境整備すべきことと思うくらい重要。政策予算、具体的実行方法など、地球がだめになる予測例の目標とあわせ、優先的にこの目標をクリアーし、更に改善の方向へ(日本のみならず世界へ向けても必要)</p>
<p>太陽光発電雨水利用などを利用したいとこです</p> <p>太陽光発電を一時考えたが、費用の面でできなかつた。国や地方自治体がもっと真剣になってやらなければ実現不可能と思います。</p>
<p>断熱材は割りと安いと思います。もう少し費用があれば木製サッシ、床暖房はとりつけたかった。省エネといってもやはり+αの費用をかけなくてはいけないので今後の若い世代ではよほどの覚悟がないと無理では？</p>
<p>地域によって取組、考え方が異なっていたため、よくわからないことが多い。</p>
<p>地下室をつくった戸建ては補助金が必要</p> <p>地球温暖化防止・京都議定書・排出権購入などを聞いた時、改めて先進国並みにCO2削減・温暖化防止のための改善への助成装置を恒久的に導入されるよう切望します。(時限立法一期限切れです。政府の取り組み方に対する熱意の低さの表れ、といわれても仕方ない)</p>
<p>手短に一番に行うことができる車の利用を最小限に家庭内のゴミ削減、リサイクル、その他クーラー・暖房も最小限の温度設定で冷暖にても実行している</p>
<p>どうゆう結果を予想しているのか、どういう結果がでたのか、それをどう使うのか、とても関心があります。とても大事な取組です。</p>
<p>灯油が毎週上昇しています。今冬は暖かい方がよい</p>
<p>何千万もの費用をかけて住宅をつくりローンを返済する頃には、解体、建て直しをしている現在の日本の住宅は根本的な省エネになるのか、きわめて疑問。建築業者や機械メーカーのみかけの商売に利用している掛け声にすぎない。欧州のように100年以上建物を利用できる住宅の普及を図ることこそ真実の省エネ住宅・小コスト住宅になる。</p>
<p>年金生活者にとって単独のリフォームは子供の協力が可能な二世帯住宅以外は非常に困難になっています。費用対効果がはっきりしていないので、期待されるのは省エネ基準を義務化した新築家屋だと思っています。</p>
<p>風呂場のリフォームをした。窓ガラスはペアガラス、床は脱衣所とのバリアフリー、省エネに湯船は魔法瓶型にした。全部屋のコンセントは全部スイッチ方式にし、ポット他使用しない場合はきるようにした。(待機電力と極力なくすようにした)車のりようも減らし、アイドリングストップ、信号を待つ間はエンジンをきる。ガソリン値上げにわずかな抵抗をしています。今後苦手な普及活動にチャレンジしていきたいと思います。</p>
<p>法律や基準を作っても、県市町村広報で知らせる方法では普及しない。まず、目を通さない。新しい制度の普及では資金的援助と普及開発の工夫が必要と思います。</p>
<p>毎日の生活の中で電気、水道ガス等家庭からの二酸化炭素の排出量には頑張っています。ただ省エネ住宅には分かっているのですが、なかなか出が付けられません。</p>
<p>まったなしの環境を考えるととっと法律で制度化を出すことが必要。やればできるのにやらない姿勢が問題。</p>

マンションのため、勝手に代えられない。夏はベランダの水打ち、ヨシズを立てる等の対策をす
るくらい、夏夕方ベランダに打ち水をして多少涼しくなったら、ベランダから室内に扇風機で風
を送るとともにだいどころの換気扇をまわして室内の暑い空気を入れ替えている。冬は窓のカ
ーテンにプチプチを利用して、保温に心がける。このような工夫で普通の建物でも空調機無し
でくらしている。ペアガラスは夏はよいが、冬の日差しのあたたかささえぎるので、どうかと思
う。それよりも夏は緑のカーテンを冬は厚手のカーテンやプチプチ利用の方が良いと思う。ちな
みに我が家の電気量は平均で2300円/月以下です。

メーカーの宣伝は自社に都合のよい点のみで各社を比べると何が大事かわからなくなってし
まう。行政等の普及活動はお役所的でマーケティングの手法視点が無く効果が余り期待でき
そうにない。

木造住宅は日本の風土にあったもので、長年の経験によって湿度、温度など自然環境をいし
きして作られてきたものです。しかしその伝承者はきわめて少なくなり、見直しの機会があつて
も行政が機能しない。

もっと発電効率のよい太陽光発電を開発してほしい

床暖棒をしているので冬の電気代が高い。風力発電装置の導入を考えているが、適当な機器
が見つからない。

緑地を増やしてほしい